



Subaru

男声合唱団

ニュース№669

‘18. 11. 06

嶋本先生の声楽レッスン（第2回目）

11月2日

- 11月2日（金）の定例レッスンは、佃さんの体操、吉岡さんの滑舌トレーニングに始まり、この日は、嶋本晃先生の声楽レッスン第2回目が行われました。
- 前半は嶋本先生のダイナミックな身振りを入れた熱のこもった発声レッスン、後半は本並先生の指揮で「夕焼け」と「君死にたまふことなれ」を合唱し、嶋本先生から要所で発声、表現の指導を受けました。ピアノは森二三さん、参加は全35名でした。
- 声楽レッスンでは、おもに腹式呼吸で息をながす訓練、体に余分な力を入れず、力まない声が上へ登っていくイメージで息をのばす指導がありました。



□ 「夕焼け」では、なんども出てくる「夕焼けはばら色」を「きれいなきれいなばら色を表現した声で、一音一語に区切った印象ではなく、意味を伝える1フレーズで歌うこと」、また、「iyuuyake」と発声しているのを、「ゆ一やけ」と、話したことばで素直に伝わる発声をする、「詩をよく読んで詩の心を表現するよう努める」などの指導がありました。

- 「君死にたまふことなれ」では、「最初のテナーソロが聞こえなくなる個所がある、合唱部はテナーが聞こえるよう抑える」、バリトン、バスのユニゾン「さかいのまちのあきびとの」3拍子の連なりは「さー④いー④まー④のーー」の○の言葉が遅れて跳ねて聞こえる、手振りや指振りで水平に払ってレガートに歌うことを意識する。等々の貴重な指摘、指導がありました。

- 全体に、「詩のことばに共感し、詩のこころを伝える、そのためにふさわしい発声をする」というのが嶋本先生の声楽レッスンの基本のようを感じました。